

わが家のマイ・タイムライン

目安	<p>【前提：夫、妻、子ども2人（中学2年生、小学6年生）の4人家族、赤坂町（秋山川右岸付近）在住】</p> <p>- 7.2 h</p> <p>平素から、避難要領を家族と相談し、家族一人ひとりの役割を決定しておく。決定した内容を、マイ・タイムラインに記入し、家族全員と共有しておく。ハザードマップにより、秋山川が氾濫した場合、自宅の位置は、3m～5mの浸水があることを確認したため、避難が必要だと判断する。 家族全員の体調を把握しておく。(担当:妻) 夫婦で相談し、車で植野小学校に「高齢者等避難」が発令されたタイミングで避難することを決定する。 避難経路は、県道〇〇号に入り、〇〇交差点を左折し、そのまま道なりに進み、植野小学校に向かうことに決定する。運転は、夫が行う。 県道〇〇号が通行止めの場合は、〇〇道へ迂回して植野小学校へ向かう。 予備の避難所は、南中学校とする。避難経路は、県道〇〇号に入り、〇個目の信号を左折し、道なりに進み、南中学校に向かうことに決定する。</p> <p>平素から、非常持ち出し品のチェックリストを作成し、備蓄しておく。(担当:夫) チェックリストを基に、非常持ち出し品を再確認し、足りない物を買うに行く。(担当:妻) (例:食料品、飲料水、子どもの1週間分の薬、妻のコンタクトレンズ、救急セット、マスク、体温計、アルコール消毒液、ウェットティッシュ、衣類、工具、懐中電灯(予備電池含む)、携帯ラジオ、洗面用具、固形燃料、嗜好品等) 家族全員の今後の予定を確認し、ノートにまとめ、見えるところに貼っておく。(担当:妻) 班長及び隣家の〇〇さんと反対隣りの〇〇さんの電話番号を確認し、夫と子どもに共有しておく。(担当:妻) 家族全員の電話番号が各自登録してあるかを確認する。(担当:妻) 浸水しそうな箇所に土嚢を設置する。終わり次第、側溝の清掃をする。(担当:夫、子ども) ベランダの物干し竿を自宅の中に入れる。(担当:妻) 車のガソリンを満タンにしておく。(担当:夫) 家電や書類を2階にあげる。(担当:夫、子ども)</p> <p>秋山川上流の雨量をインターネットで確認する。(担当:夫) 台風の進路をテレビ、ケーブルテレビ、気象庁のHP、防災アプリで確認する。(担当:夫) 避難情報をテレビ、ケーブルテレビ、佐野市防災・気象情報メール、防災行政無線、佐野市HP、Twitterで確認する。(担当:夫、子ども) 河川の水位情報をテレビ、国土交通省「川の防災情報」WEBサイトで確認する。(担当:妻) 交通規制情報をインターネットで確認する。(担当:妻) 渡良瀬川河川事務所の態勢、栃木県の態勢、佐野市の態勢をそれぞれのHPで確認する(担当:夫) 子どもの学校について、佐野市HPで確認する。(担当:妻) 確認した情報は、家族全員に共有する。(担当:夫、妻) 町会と連絡を取り合い、情報を収集する。(担当:夫)</p>
- 4.8 h	<p>家族全員の体調を把握しておく。(担当:妻) 再度、マイ・タイムラインを確認する。(全員) これまでの準備、確認事項に漏れがないか確認する。(担当:夫) 非常持ち出し品を車に積む。(担当:夫、子ども)</p>
- 2.4 h	<p>家族全員の体調を把握しておく。(担当:妻) 秋山川上流の雨量をインターネットで再確認する。(担当:夫) 台風の進路をテレビ、ケーブルテレビ、気象庁のHP、防災アプリで再確認する。(担当:夫) 避難情報をテレビ、ケーブルテレビ、佐野市防災・気象情報メール、防災行政無線、佐野市HP、Twitterで再確認する。(担当:夫、子ども) 河川の水位情報をテレビ、国土交通省「川の防災情報」WEBサイトで再確認する。(担当:妻) 交通規制情報をインターネットで再確認する。(担当:妻) 渡良瀬川河川事務所の態勢、栃木県の態勢、佐野市の態勢をそれぞれのHPで再確認する。(担当:夫)</p>
- 1.8 h	<p>子どもの学校について、佐野市HPで再確認する。(担当:妻) 確認した情報は、家族全員に共有する。(担当:夫、妻)</p>
- 1.1 h	<p>避難する服装に着替える。(各自) スマートフォンとモバイルバッテリーを充電しておく。(各自)</p>
- 7 h	<p>近所の〇〇さん宅と〇〇さん宅に、避難をするよう呼びかける。(担当:妻) 避難することを隣家の〇〇さんに電話で連絡する。繋がらない場合は、反対隣りの〇〇さんに電話で連絡する。(担当:妻) 避難することを班長に電話で連絡する。繋がらない場合は、メールで残しておく。(担当:夫) 避難情報をテレビ、ケーブルテレビ、佐野市防災・気象情報メール、防災行政無線、佐野市HP、Twitterで再確認する。(担当:夫、子ども) 避難所の開設状況を、テレビ、ケーブルテレビ、佐野市防災・気象情報メール、防災行政無線、佐野市HP、Twitterで確認する。(担当:夫、子ども) 戸締りをし、電気ブレーカーを落とし、家を出る前の最終確認を行う。(1階:夫と子ども、2階:妻) 貴重品を持っているか確認する。(各自) 避難していることがわかるようなメモ(例:〇月〇日〇時から〇〇〇避難所に家族全員で避難中)を玄関に貼る。(担当:夫)</p>
- 5 h	<p>避難情報をテレビ、ケーブルテレビ、佐野市防災・気象情報メール、防災行政無線、佐野市HP、Twitterで確認(担当:夫、子ども) 「高齢者等避難」が発令されたことを確認し、避難所が開設されたことが確認でき、さらに避難経路の状況も確認ができたため、植野小学校へ車で全員避難する。 (今回の台風は、令和元年東日本台風(台風第19号)と比べて勢力が大きいことから、余裕を持って避難を行う。)</p> <p>移動中は周囲を注視し、なにかあれば夫に伝える。(各自)</p>
- 3 h	<p>避難完了 非常持ち出し品をもって受付を済ませる。(各自) 家族がまとまって滞在できるように、スペースを確保する。(担当:夫または妻) 班長に避難が完了したことを電話で伝える。繋がらないときは、メールを残しておく。(担当:夫)</p>
0 h	<p>町会長(不在の場合は、避難所開設担当職員)に避難所の運営に協力する旨を申し出る。(担当:夫) 子ども2人の体調を管理し、何かあればすぐに夫に電話し、避難所開設担当者に申し出る。(担当:妻) 今後の気象情報及び水位情報をインターネットで確認し、夫に情報共有できるようにしておく。(担当:妻)</p>